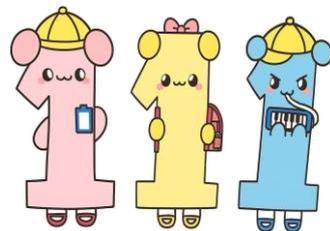


武蔵村山市立第一小学校



# 学校だより

令和8年1月30日



## がんばれ！100名の選手たち！

校長 押本 純樹

本市には、学校単位で参加できるスポーツ大会が、サッカー、駅伝、ドッジボールと3種目あります。サッカーとドッジボールの大会は、小学生対象の学校対抗で市教委主催です。駅伝はご存知のとおり市民大会です。どれも休日に開催され、参加の有無は各学校の任意です。習い事のスポーツ団体が参加する大会とは違い、チームの母体がクラスや学年になります。練習もある一定期間に限られているので、希望すれば誰でも気軽に参加できるのが、この大会の良さだと思っています。

何事も経験が大切で、実際に取り組んでみて、初めて分かることがたくさんあります。今年度も何となく友達に誘われて参加した子が、みんなといっしょに練習していく中で、ぐんぐん上達していく様子が見られました。また、大会を通して味わう、勝者敗者の気持ちも子供たちの心に残るようで、負けた悔しさをバネに次年度一つ大人になって活躍する姿を見たことがあります。そのため、本校ではこの3種目を「三大スポーツ大会」と称して、積極的に参加するよう子供たちに声をかけています。

ただ、そこには練習時間をどう設けるかといった課題がありました。先生たちには、毎日の授業とその準備があります。昨今の教員の働き方改革からすれば、中学校の部活動問題と同じで、あまり無理をさせたくはありません。だからと言って、ケガの防止やルールの確認といった点からも練習は必要です。練習を通して、身に付けた力を試し合うのが試合であり、そのための大会で、出場するからには、勝ちたいです。

そこで考えたのが、年間を通して総授業時数は確保しつつ、大会3週間前から週2回程度、6校時の授業の代わりに練習をすることにしました。今年度で3年目の取組です。こうすることで教員だけでなく、参加する子供たちの負担も軽くなったのか、大会への参加者数が増えました。昨年12月に行われた市民駅伝競争大会には、9チーム61名が参加しました。過去最高の参加者数です。これは、今の学校全体の雰囲気による一過性のものなのか、それとも、これから学校文化として定着していくのかはまだ分かりませんが、そこに意欲的な子供たちの姿があり、とても嬉しかったです。

そして、いよいよ明日1月31日（土）は、今年度最後の三大スポーツのドッジボール大会が行われます。これには、なんと7チーム100名が参加します。これも過去最高です。積極的に参加した子供たちに敬意を払い、その気持ちに応えようと熱心に指導した先生たち、そして、その子供たちを快く送り出してくれた保護者の皆様に深く感謝します。試合結果はどうあれ、とにかく思いきりみんなでドッジボールを楽しんでもらえたらと思っています。一つ一つの経験が子供たちをたくましくしていきます。



最後の6校時練習の様子